

令和6年第8回
教育委員会定例会教育長報告

令和6年8月16日（金）

- | | |
|---|-----|
| 1 給食費の収納状況について | 資料1 |
| 2 モリモリウィーク（残食ゼロウィーク）の残食率等について | 資料2 |
| 3 部活動の地域連携・地域移行に関する計画の策定について | 資料3 |
| 4 「令和6年度教育課題夏季研修」出席状況について | 資料4 |
| 5 令和6年度 武蔵村山市「小中一貫教育の日」の実施について | 資料5 |
| 6 令和6年度武蔵村山市少年・古希軟式野球チーム親善試合の開催について | 資料6 |
| 7 令和6年度武蔵村山市スポーツ都市宣言記念事業いきいきわくわくスポーツ教室の開催について | 資料7 |
| 8 その他 | |

給食費の収納状況について
(令和5年度 令和6年5月31日現在)

1 現年度分

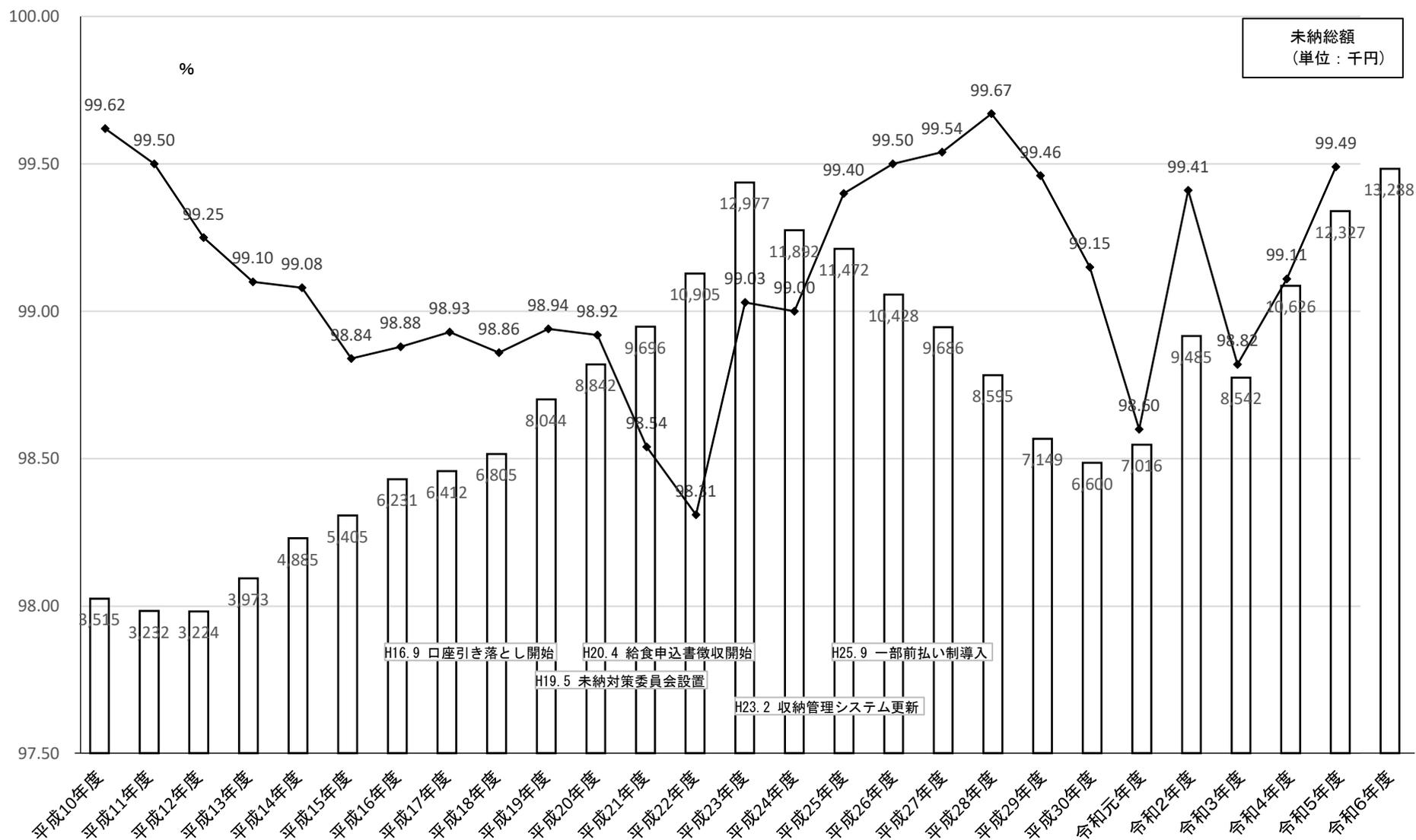
学校名	調定額	収入額	未納額	収納率	未納者数
第一小学校	8,676,335円	8,576,660円	99,675円	98.85%	8人
第二小学校	7,893,884円	7,729,099円	164,785円	97.91%	11人
第三小学校	8,310,223円	8,254,131円	56,092円	99.33%	3人
村山学園小学部	7,617,125円	7,525,721円	91,404円	98.80%	5人
第七小学校	13,174,686円	13,100,536円	74,150円	99.44%	7人
第八小学校	14,212,092円	13,993,993円	218,099円	98.47%	15人
第九小学校	6,420,230円	6,322,365円	97,865円	98.48%	9人
第十小学校	9,507,416円	9,372,347円	135,069円	98.58%	9人
雷塚小学校	6,821,476円	6,737,372円	84,104円	98.77%	7人
小学校計	82,633,467円	81,612,224円	1,021,243円	98.76%	74人
第一中学校	13,734,643円	13,625,925円	108,718円	99.21%	8人
村山学園中学部	5,746,710円	5,610,351円	136,359円	97.63%	8人
第三中学校	8,550,431円	8,541,180円	9,251円	99.89%	1人
第四中学校	7,900,211円	7,852,060円	48,151円	99.39%	4人
第五中学校	13,367,708円	13,219,113円	148,595円	98.89%	9人
中学校計	49,299,703円	48,848,629円	451,074円	99.09%	30人
学校給食課	2,860,846円	2,811,310円	49,536円	98.27%	1人
合計	134,794,016円	133,272,163円	1,521,853円	98.87%	105人
令和4年度決算額	214,522,789円	211,894,493円	1,680,107円	98.77%	116人
前年度比	△ 79,728,773円	△ 78,622,330円	△ 158,254円	0.10%	△ 11人

※令和5年6、7、9月分及び令和6年1月から3月分までの学校給食費は無償

2 過年度分

年度	調定額	収入額	不納欠損額	未納額	収納率
令和5年度	12,586,637円	821,348円	835,229円	10,930,060円	6.53%
令和4年度	10,637,987円	260,379円	679,646円	9,697,962円	2.45%
前年度比	1,948,650円	560,969円	155,583円	1,232,098円	4.08%

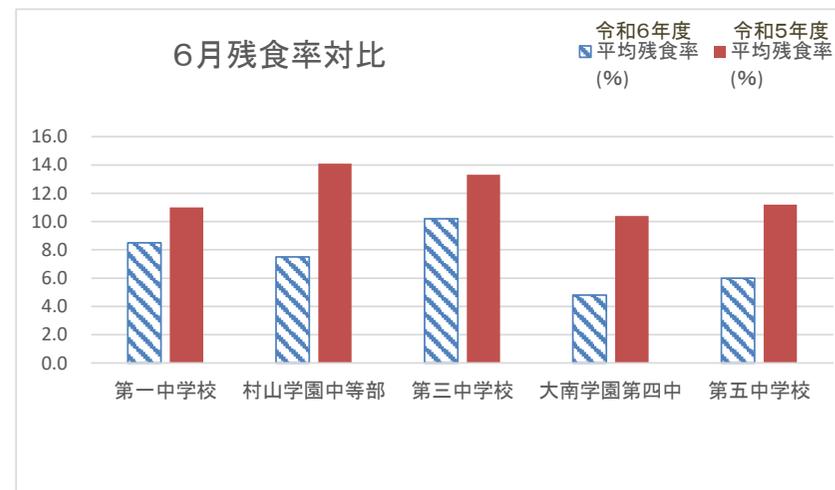
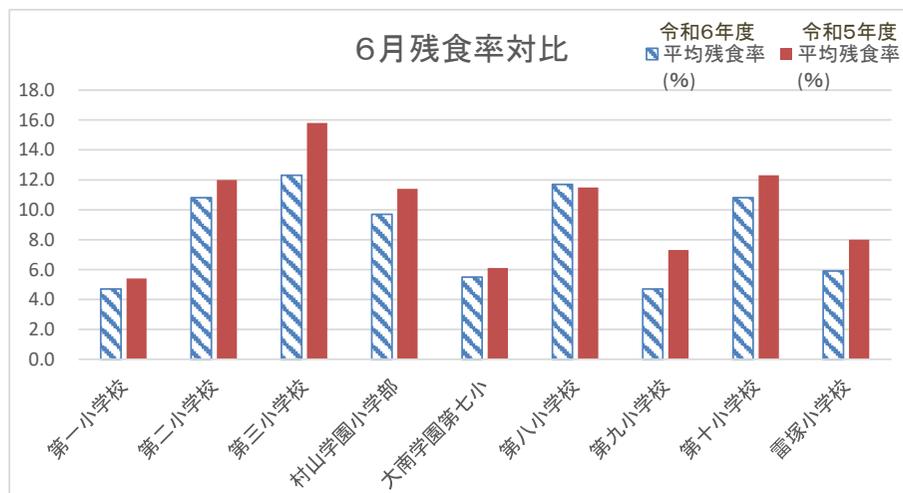
給食費(現年度分)収納率と未納総額の推移



モリモリウィーク(残食ゼロウィーク)の残食率等について

学校名	令和6年度		令和5年度			
	モリモリウィーク 6/10～6/14		モリモリウィーク 11/20～11/24		モリモリウィーク 6/19～6/23	
	平均残食率 (%)	1日当たり 残食量 (kg)	平均残食率 (%)	1日当たり 残食量 (kg)	平均残食率 (%)	1日当たり 残食量 (kg)
第一小学校	4.7	10	6.9	16.3	5.4	10
第二小学校	10.8	22	9.5	21.3	12.0	27
第三小学校	12.3	27	14.7	35	15.8	32
村山学園小学部	9.7	22	10.6	23.8	11.4	21
大南学園第七小	5.5	20	5.8	21.3	6.1	21
第八小学校	11.7	45	8.6	35	11.5	46
第九小学校	4.7	8	0.7	1.25	7.3	12
第十小学校	10.8	24	10.8	33.3	12.3	32
雷塚小学校	5.9	8.75	8.7	15	8.0	14

学校名	令和6年度		令和5年度			
	残食ゼロウィーク 6/10～6/14		残食ゼロウィーク 11/20～11/24		残食ゼロウィーク 6/19～6/23	
	平均残食率 (%)	1日当たり 残食量 (kg)	平均残食率 (%)	1日当たり 残食量 (kg)	平均残食率 (%)	1日当たり 残食量 (kg)
第一中学校	8.5	39	13.9	64	11.0	50
村山学園中等部	7.5	14	11.5	19	14.1	22
第三中学校	10.2	28	12.0	33	13.3	37
大南学園第四中	4.8	11	11.6	29	10.4	26
第五中学校	6.0	25	8.1	36	11.2	52



**部活動の地域移行に関する
推進計画について**

令和 6 年 8 月

武蔵村山市教育委員会

1 武蔵村山市学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画の策定の目的

策定の目的は、東京都が策定した「学校部活動の地域連携・地域移行に関する総合的なガイドライン」及び「学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画」を受け、令和7年度末までの改革推進期間における取組の展望を明らかにし、市内中学校の部活動の地域連携・地域移行を推進することを目的として策定する。

2 推進目標

令和7年度末までに、全ての市内中学校で、地域や学校の実態に応じ、地域連携・地域移行に向けた何らかの取組が行われていることを目指す。また、同時に教員の負担軽減を図る。

3 市の取組

市は、市内中学校において、地域の実態に応じた地域連携等が推進されるよう、以下の取組を行う。

(1) 武蔵村山市部活動の地域移行推進委員会の開催

教育委員会は、現在中学校部活動に係る事務担当である教育指導課、移行に伴い地域の関係団体と連携を図るため、スポーツ振興課及び文化振興課を含め事務局とし、市内中学校長及び担当教員を委員として、地域移行推進委員会を開催する。

委員会では、市内中学校における部活動の地域連携・地域移行の在り方や、持続可能なスポーツ・文化芸術環境の構築について検討する。

【主な検討事項】

- ・令和7年度末までの推進計画の策定
- ・移行に係る具体的な取組の協議
- ・生徒・保護者・教職員へのアンケート実施（都調査を活用）

(2) 関係者への情報発信

地域連携・地域移行の背景や、見込まれる効果、スケジュール等について、市内小・中学校、児童・生徒や保護者、学校関係者、地域に対して、定期的に周知する。

【主な検討事項】

- ・地域・保護者向けに推進状況のリーフレット作成（都作成物も活用）
- ・教育委員会HP、市広報X、LINE等による周知

(3) 地域人材・地域資源の確保

地域連携・地域移行に協力していただく地域人材や関係団体への周知、関係者会議などを実施し、指導者を確保する。

【主な検討事項】

- ・指導員、関連団体の確保、運営団体一覧の作成
- ・予算の確保
- ・学校のニーズに即した指導者の確保、保護者やボランティアの参加・活用の検討

(4) 指導体制の確保

地域人材や関係団体に学校部活動の円滑な実施が図れるよう、体制の整備を行う。

【主な検討事項】

- ・ 指導員、協力団体への説明会の実施
- ・ 保護者や生徒への事前説明
- ・ 専門性向上、服務研修等の実施
- ・ 学校と指導者との円滑な連絡体制の整備
- ・ 活動時間や生徒の出席の管理
- ・ 事故発生時の初期対応等の整理
- ・ 生徒の怪我の補償

4 学校の取組

市内中学校は、地域連携等が推進されるよう、以下の取組を行う。

- (1) 各学校の実態に応じた部活動の見直し
 - ・ 校内部活動種目数の縮減、部活動ガイドラインに基づいた活動の在り方や、活動日時の見直し
 - ・ 休日部活動の見直し
 - ・ 生徒及び保護者への定期的な周知
- (2) 市内中学校間での連携した取組
 - ・ 合同部活動の実施

5 その他の検討事項

- (1) 持続可能な部活動の在り方について
現在の学校部活動の中で、実現可能な取組から順次実施する。
- (2) 教職員の兼職兼業について
国及び都の体制整備後に、実施を検討する。
- (3) 主管課の変更について
地域移行が進んだ場合に、関係団体が主体となって部活動を担う形ができる場合には、スポーツ振興課や文化振興課に移管できるか検討する。

6 推進計画

(1) 「地域移行推進委員会」の開催

内容	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
地域移行推進委員会の開催	地域連携・移行に向けた協議			

- ・令和5年度は3回実施、令和6年度は2回の実施を予定している。

(2) 調査の実施

内容	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
調査の実施	都調査及び市調査の実施及び、結果を踏まえた協議			

- ・令和5年度及び令和6年度は、都調査を活用している。

(3) 生徒・保護者・関係機関への情報発信

内容	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
関係者への情報発信	内容の検討	国・都・市の推進の動き、都・市調査等結果の公表等		

(4) 地域移行の実施

内容	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
地域移行の実施	協議	取組可能な種目（一部）から順次実施		

- ※ 第三中学校バドミントン部において、地域クラブの協力を得た活動を実施中。

(5) 校内における活動の見直し、合同部活動等の実施

内容	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
地域移行の実施	取組可能な種目（一部）から順次実施			

- ※ 野球部において、合同部活動を実施中。

「令和 6 年度教育課題夏季研修」出席状況について

1 開催年月日

令和 6 年 8 月 1 日（木）から令和 6 年 8 月 2 日（金）まで

2 会 場

武蔵村山市役所中部地区会館 4 0 2 A B 学習室

3 研修テーマ

回	テーマ
第 1 回	武蔵村山市教育委員会の教育施策（まちづくり学習）への理解
第 2 回	学校におけるいじめ問題への対応のポイントについて
第 3 回	不登校児童・生徒の対応について
第 4 回	外国人児童・生徒等に対する日本語指導の充実について

4 参加者数（人）

学校名	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回
第 一 小 学 校	2	1	2	1
第 二 小 学 校	2	1	2	1
第 三 小 学 校	1	1	3	1
第 八 小 学 校	1	3	5	2
第 九 小 学 校	2	2	0	0
第 十 小 学 校	1	1	1	1
雷 塚 小 学 校	3	1	2	0
小中一貫校村山学園	3	2	4	4
大南学園第七小学校	2	1	1	1
大南学園第四中学校	1	0	0	0
第 一 中 学 校	5	1	3	1
第 三 中 学 校	0	1	9	1
第 五 中 学 校	3	6	2	1
合 計	26	21	32	14

5 その他

- (1) 各回、参集開催とした。
- (2) 令和 6 年度新任主幹教諭は参加を悉皆とした。

令和6年度 武蔵村山市「小中一貫教育の日」の実施について

1 実施目的

各中学校区での授業実践交流等を通して小中一貫教育の連携を図る。

2 期日及び会場

期 日	中学校区	授業・研究会場
令和6年 9月11日(水) 午後	三中校区	第三中学校
令和6年 10月9日(水) 午後	一中校区	第一中学校
	五中校区	第二小学校
		第八小学校 第十小学校 第五中学校
令和6年 10月16日(水) 午後	小中一貫校村山学園	村山学園
	小中一貫校大南学園	大南学園第七小学校 大南学園第四中学校

3 参 観 日 令和6年10月16日(水) 午後

4 訪 問 校 武蔵村山市立小中一貫校村山学園

令和 6 年度武蔵村山市少年・古希軟式野球チーム親善試合
の開催について

- 1 主 催 武蔵村山市教育委員会
- 2 共 催 武蔵村山市少年野球連盟、古希軟式野球チーム
- 3 開 催 日 令和 6 年 9 月 8 日（日）
- 4 会 場 総合運動公園運動場（第 1、第 3 運動場）及び総合体育館
（第二、第三体育室）
- 5 時 程

内 容	時 間	会 場
開会式	午前 10 時 00 分から 午前 10 時 20 分まで	総合運動公園運動場（第 3 運動場）
野球教室	午前 10 時 20 分から 午前 11 時 30 分まで	総合運動公園運動場（第 1 運動場）
始球式	午後 0 時 30 分から 午後 0 時 40 分まで	総合運動公園運動場（第 3 運動場）
親善試合	午後 0 時 40 分から 午後 2 時 10 分まで	
講演会 受付	午後 2 時 30 分から 午後 3 時 00 分まで	総合体育館（第二、第三体育室）
講演会	午後 3 時 00 分から 午後 4 時 00 分まで	

- 6 野球教室 開会式終了後に市内少年野球チームを対象に元プロ野球選手による野球教室を 1 時間程度実施する。
- 7 親善試合 少年野球連盟代表チームと古希軟式野球代表チームが、7 イニング、試合時間 1 時間 20 分の親善試合を実施する。少年野球連盟代表チームは、原則として小学校 6 年生で構成されたチーム。古希軟式野球代表チームは、原則として 70 歳以上で構成されたチーム。登録人数は 1 チーム 20 人以内。
- 8 講演会 元プロ野球選手による講演会を実施する。入場無料。定員は 300 人とし、うち一般募集枠は 100 人程度とする。9 月 1 日号市報で募集する。

岡島 秀樹氏（元プロ野球選手）

令和6年度武蔵村山市スポーツ都市宣言記念事業
いきいきわくわくスポーツ教室の開催について

- 1 目的 「2014武蔵村山市スポーツ都市宣言」の10周年を記念して、新しいスポーツジャンルであるARスポーツの体験会を実施し「スポーツ都市武蔵村山」として、すべての市民の健康増進、体力向上等スポーツの推進を図ることを目的とする。
- 2 主催 武蔵村山市教育委員会
- 3 日時 令和6年10月13日（日）
午前10時から午後4時まで（予定）
- 4 場所 総合体育館（第一体育室）
- 5 参加対象 市民（市内在住）
- 6 内容 ARスポーツ「HADO」の体験会等
- 7 募集 市報、ホームページ等に掲載し、広く市民に周知するとともに、市内各小中学校に情報提供し事業の周知に努める。